



ここに**COSEL**

**2026年5月期 第3四半期  
決算説明資料**

**コーセル株式会社**

2026年3月23日

2026年5月期 第3四半期の実績ならびに通期の予想について  
ご説明します。

# 2026年5月期 第3四半期実績

### 売上高・営業利益

#### 売上高・利益ともに前年同期比で減収減益

##### 売上高

###### ・国内

半導体製造装置向けは、需要旺盛により増加傾向  
FA関連を中心に、顧客の在庫消化が進み回復基調

###### ・海外

米国の関税政策の影響や、中国景気の低迷長期化による先行きの不透明感が残るものの、北米、アジアは回復傾向  
欧州は景気低迷が継続

##### 営業利益

・売上高の減少により、固定費を吸収できず営業利益減少

### 受注高

- ・生成AI用GPU半導体製造装置向けの受注は、引き続き好調
- ・FA・医療・通信機器向けについても、在庫調整が進み堅調に推移

第3四半期累計の業績は、売上高・営業利益ともに前年同期比で減収減益となりました。

概要についてはスライド本文に記載内容のとおりですが、詳細についてはP4～P6で説明しています。

受注高については、今年度に入り四半期ごと段階的に復調傾向にあります。この詳細はP7～P9で説明しています。

## 第3四半期実績



売上高 国内を中心に半導体製造装置向け需要旺盛となり、またFA関連を中心に顧客在庫消化が進み、前年同期には及ばないが段階的に回復基調  
 営業利益 売上高の減少により、固定費を吸収できず営業利益はマイナス

(単位：百万円)	FY2024 3Q累計 実績	FY2025							
		3Q累計 実績	1Q	2Q	3Q	前年同期比		直前四半期比	
						増減	%	増減	%
売上高	21,217	17,346	5,075	6,058	6,211	▲3,871	▲18.2%	+153	+2.5%
売上総利益	5,715	4,036	1,297	1,299	1,438	▲1,679	▲29.4%	+138	+10.7%
販管費	4,985	4,935	1,687	1,569	1,678	▲49	▲1.0%	+108	+6.9%
営業利益	730	▲899	▲389	▲269	▲239	▲1,629	-	+30	-
営業利益率	3.4%	▲5.2%	▲7.7%	▲4.5%	▲3.9%	▲8.6pt	-	+0.6p	-
経常利益	639	9	▲79	196	▲107	▲630	-	▲304	-
経常利益率	3.0%	0.1%	▲1.6%	3.2%	▲1.7%	▲2.9pt	-	▲4.9pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	281	▲240	▲68	62	▲234	▲521	-	▲296	-
USD / JPY	152.94	150.03	145.38	149.08	155.99	▲2.91	-	+6.91	-
EUR / JPY	164.62	174.23	167.20	173.93	182.06	+9.61	-	+8.13	-
SEK / JPY	14.35	15.88	15.15	15.75	16.79	+1.53	-	+1.04	-

為替感応度 営業利益（1円変動/年）  
 対USD：約20百万円  
 対EUR：約 6百万円

第3四半期累計の連結実績です。

売上高は173億4千6百万円となり、前年同期比で38億7千1百万円、18.2%の減収。

営業利益は、販管費の抑制などの努力をしましたが、売上高の減少が大きく影響し、▲8億9千9百万円の結果となり、前年同期比で16億2千9百万円の減益となりました。

今年度の1Qからの四半期毎業績を見ていただきますと、売上高は増加傾向、営業利益は赤字縮小傾向になっています。

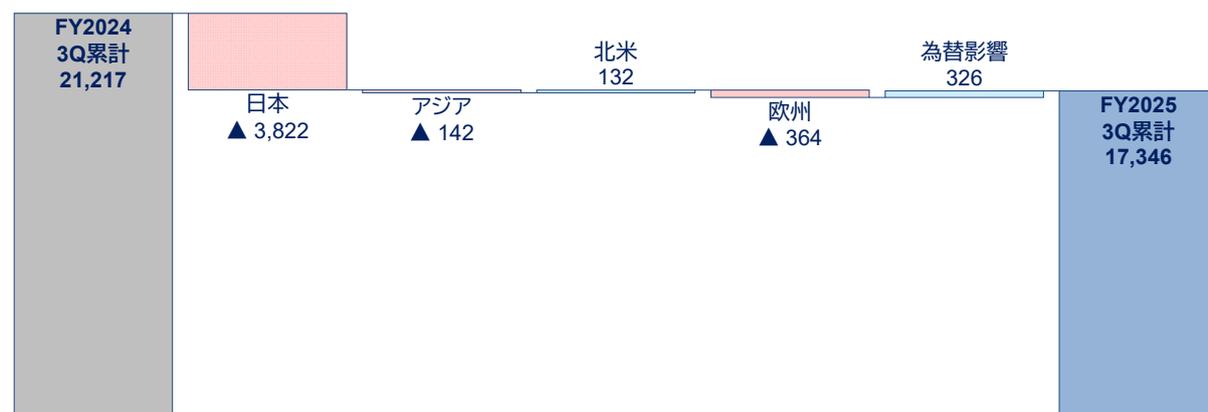
売上高増加の要因は、国内市場を中心に半導体製造装置向け需要が旺盛となり、またFA関連を中心に顧客在庫消化が進んでいることにより、段階的に回復基調に向かっていることによります。

営業利益については、売上高の増加が十分ではないため固定費を吸収できず赤字ですが、当社が2025年12月19日に修正開示した業績予想の想定範囲で進捗しています。

## 売上高増減[前年同期比]

売上高 : 173億46百万円(前年同期比 ▲38億71百万円 ▲18.2%)  
日本 : 顧客の需要回復と在庫消化が進んでいるものの、前年同期比ではマイナス  
アジア : 直近受注の回復に伴い売上高は増加してきているものの、前年同期比では軟調  
北米 : 当3Qからの受注回復に伴い、売上高は増加基調  
欧州 : 全体の需要の調整局面が継続し、顧客発注調整があり低調

(単位:百万円)



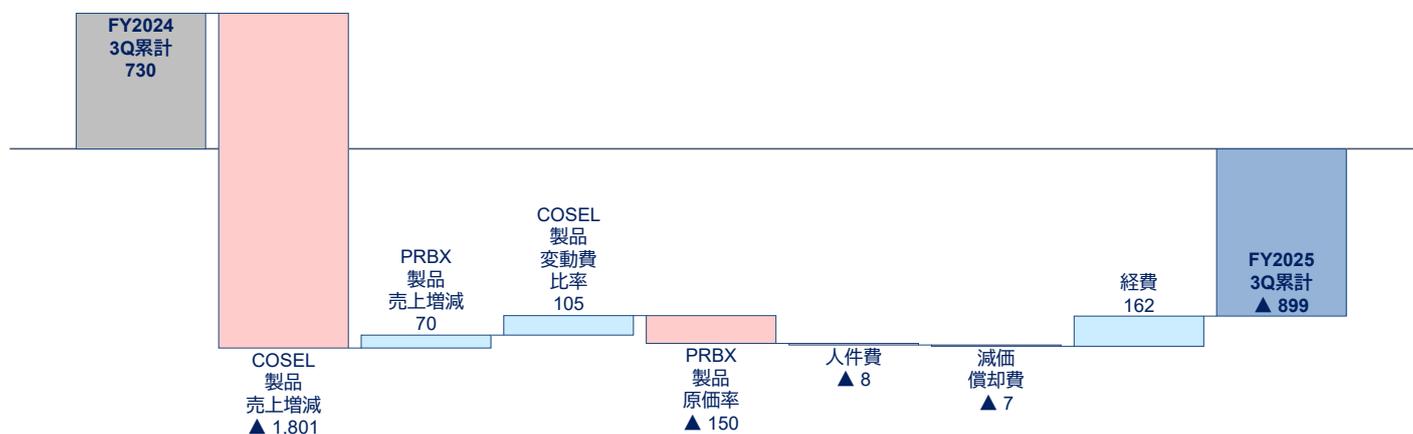
売上高の増減要因です。

スライド本文に記載内容のとおりです。

## 営業利益増減[前年同期比]

営業利益: ▲8億99百万円(前年同期比 ▲16億29百万円)  
 売上高の大幅な減少に伴い収益力が低下し、経費等の抑制に努めたが営業損失

(単位: 百万円)



注) PRBX製品: スウェーデンに拠点を置く当社100%子会社 Powerbox International ABが、開発・製造・販売する製品群

営業利益の増減要因です。

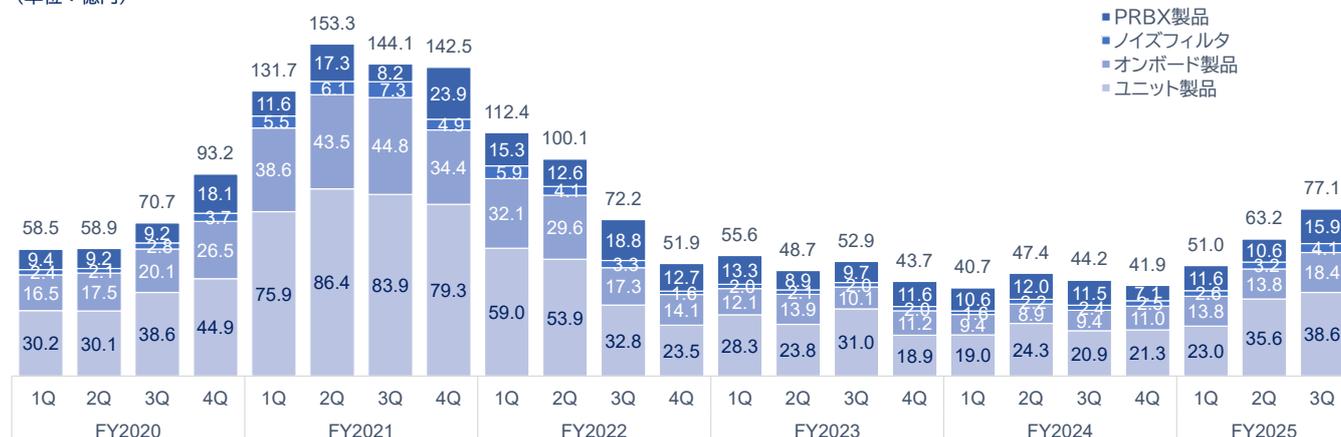
売上高の減少が一番大きく影響しました。

経費の抑制努力をしましたが、売上高の減少に対応しきれず、  
 営業利益は減益となりました。

## 受注高推移[製品別]

- ・過年度の受注増加の反動によりFY2022 4Q以降調整局面が続いたが、FY2025 1Q以降回復
- ・生成AI用半導体製造装置向けの受注増加が継続
- ・FA・医療・通信機器向けの在庫消化が進み、第三四半期は想定以上に回復

(単位：億円)



注) PRBX製品：スウェーデンに拠点を置く当社100%子会社 Powerbox International ABが、開発・製造・販売する製品群

製品別の受注高です。

過年度の受注増加の反動で、2022年度以降の調整局面が続き、顧客および販売代理店での流通在庫の未消化により、新規受注が減少していました。

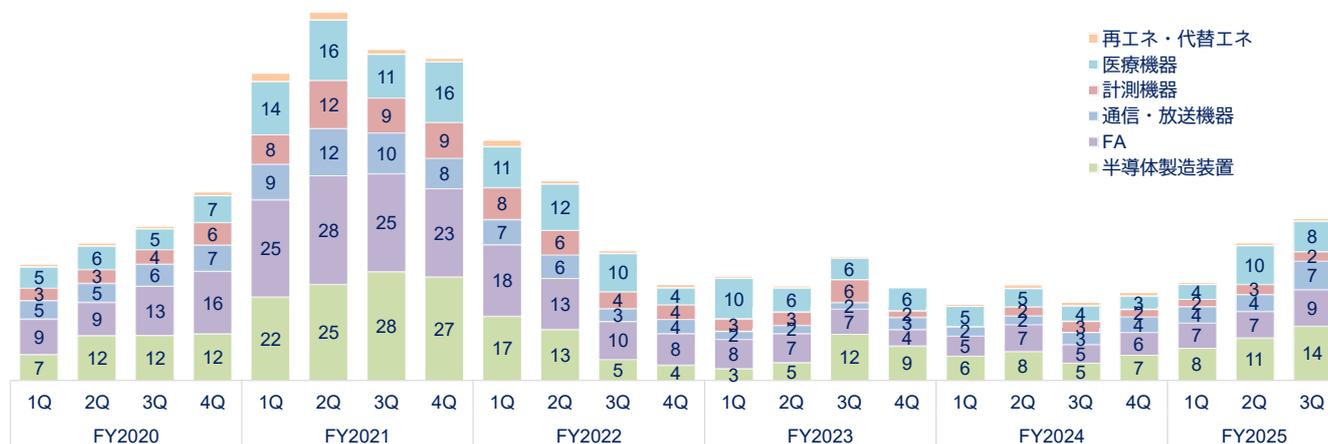
今年度の1Qから復調傾向に転じており、その要因は、生成AI用半導体製造装置向けの受注増加が継続、またFA・医療・通信機器向けの在庫消化が進んでいることによるものです。

# 受注高推移[主要業界別]

半導体製造装置業界向けの受注につき、生成AI向けの半導体需要増加を見込んだ需要増と在庫消化が進み増加傾向が継続

(単位：億円)

主要6業界 受注高 (その他業界・PRBX除く)



注) PRBX製品：スウェーデンに拠点を置く当社100%子会社 Powerbox International ABが、開発・製造・販売する製品群

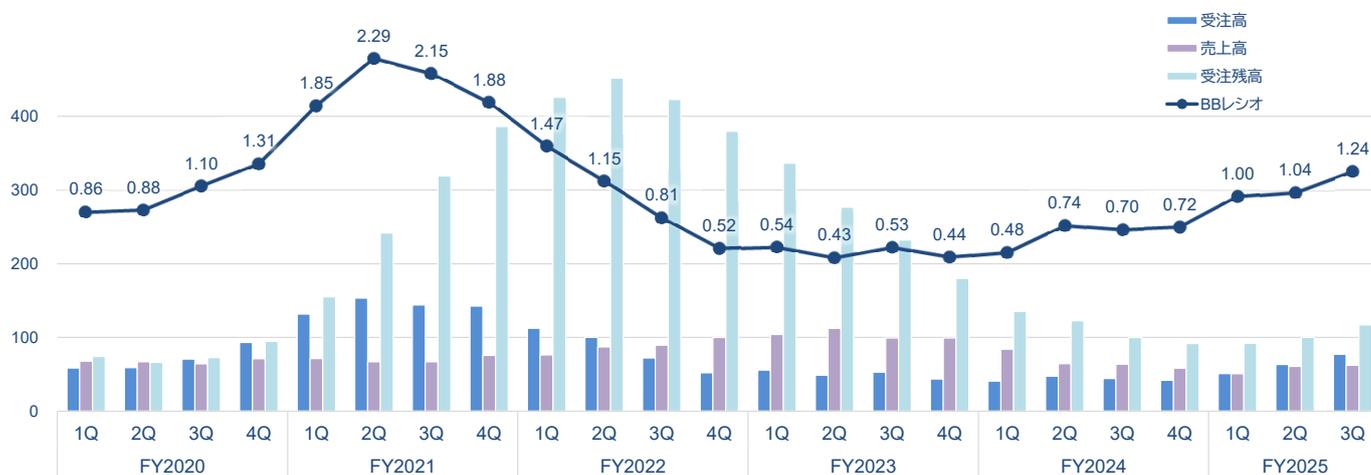
主要業界別の受注高です。

過年度の受注増加の反動により調整局面が続き、半導体製造装置や計測機器向けも継続して受注が低調に推移してきましたが、今年度の1Qから段階的に増加しています。

特に半導体製造装置向けの増加は、その顧客装置メーカーの製品が生成AI用のメモリー製造メーカー向けに好調なことが理由です。

# 受注高・受注残高・BBレシオ推移

(単位：億円・倍)



受注高・受注残高・BBレシオのグラフです。  
今年度1Qから、BBレシオが1倍を超える水準に戻ってきています。

## 連結貸借対照表



総資産 596.11億円(▲386百万円)  
現預金 277.05億円(▲83百万円)

自己資本比率 91.7%(▲1.4pt)  
棚卸資産 99億51百万円(▲12億87百万円)

(単位:百万円)	2025年5月期 (2025/5/20)	2026年5月期3Q (2026/2/20)	増減		2025年5月期 (2025/5/20)	2026年5月期3Q (2026/2/20)	増減
現金及び預金	27,789	27,705	▲ 83	買掛金	1,027	1,432	405
受取手形及び売掛金	5,664	6,181	516	未払金	360	382	22
電子記録債権	1,517	1,411	▲ 105	流動負債 計	2,830	3,196	365
棚卸資産	11,239	9,951	▲ 1,287	繰延税金負債	793	1,275	482
流動資産 計	47,760	46,631	▲ 1,129	固定負債 計	1,331	1,737	406
有形固定資産	7,268	8,141	872	負債 合計	4,162	4,934	772
無形固定資産	1,040	1,098	57	株主資本	54,020	51,517	▲ 2,502
投資その他の資産	3,927	3,739	▲ 187	その他の包括利益累計額	1,816	3,159	1,343
固定資産 計	12,237	12,980	742	純資産 合計	55,836	54,677	▲ 1,158
資産 合計	59,998	59,611	▲ 386	負債・純資産 合計	59,998	59,611	▲ 386
				自己資本比率	93.1%	91.7%	▲ 1.4pt

Copyright © 2026 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第3四半期 決算説明資料

10

貸借対照表の概要です。

総資産は596億1千万円、自己資本比率は 91.7%です。

棚卸資産は、在庫消化により12億8千万円の減少となりました。

現預金の残高については、今後のM&Aを含めた資金用途を見極めている状況であり、今後、具体的な事案が発生する際には速やかに公表します。

## 2026年5月期 通期予想

## 通期予想[2025年12月19日予想から変更なし]



通期予想 売上高 241.1億円 (前年実績比 ▲29.3億円)  
 営業利益 ▲8.1億円 (前年実績比 ▲14.4億円)

(単位:百万円)	FY2024			FY2025			前年比 増減		
	実績			実績	予想(2025年12月19日発表)		上期	下期	通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期			
売上高	14,855	12,197	27,052	11,134	12,985	24,119	▲3,721	+788	▲2,933
営業利益	634	▲6	628	▲659	▲155	▲814	▲1,293	▲149	▲1,442
営業利益率	4.3%	▲0.1%	2.3%	▲5.9%	▲1.2%	▲3.4%	▲10.2pt	▲1.1pt	▲5.7pt
経常利益	594	146	740	117	▲69	47	▲476	▲215	▲693
経常利益率	4.0%	1.2%	2.7%	1.1%	▲0.5%	0.2%	▲2.9pt	▲1.7pt	▲2.5pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	278	▲392	▲113	▲6	36	30	▲284	+428	+143

2026年5月期、通期予想の概要です。

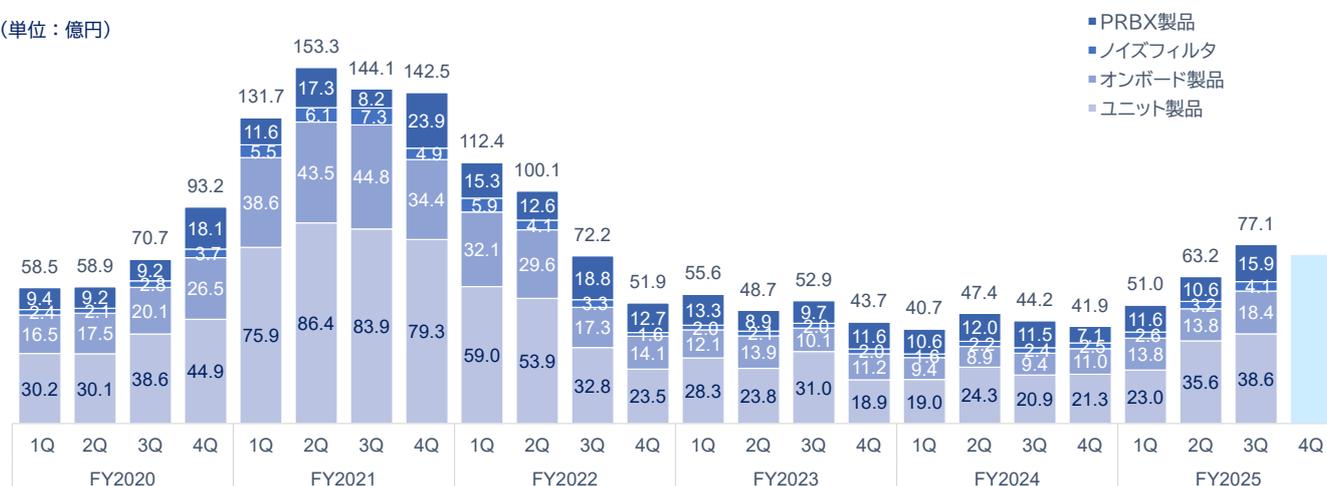
売上高は241億1千9百万円、  
 営業利益は▲8億1千4百万円、営業利益率▲3.4%、  
 当期純利益は3千万円を見込んでいます。

受注高推移ページでご説明しましたが、その受注の多くが売上に  
 結び付くのは、今期の4Q以降になります。

# 受注見通し

4Qは、3Qに受注した医療、通信機器メーカーからの先行手配の調整が入ると予想するが、全体的には顧客の在庫消化と半導体製造装置関連の需要増もあり、堅調に推移する見通し

(単位：億円)



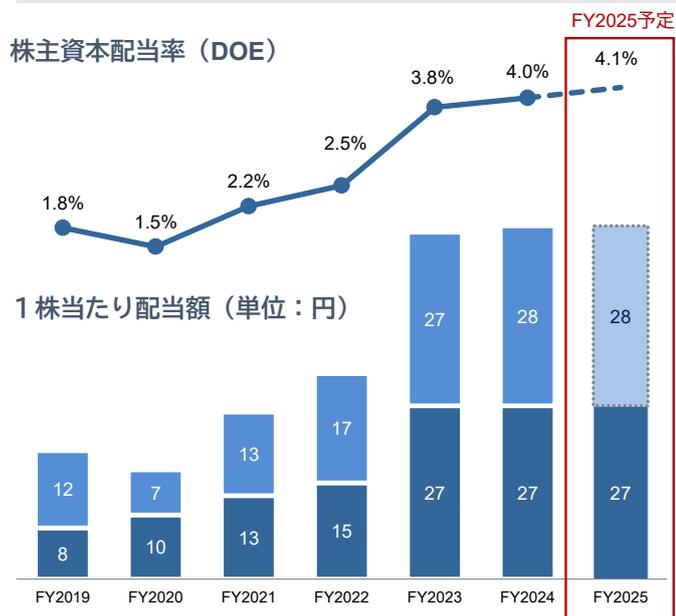
下期の受注見通しです。

P7のスライド本文で説明していますが、FA・医療・通信機器向けの在庫消化が進み、3Qの受注は想定以上に回復しました。今のところ当社では、3Q対比で4Qは若干の減少をするだろうと想定しています

## 株主還元

# 株主還元（配当金）

2026年5月期は年間55円の配当とさせていただきます予定



2026年5月期(FY2025) 配当金 (1株当たり)

中間配当 27円(2026年2月支払済)  
 期末配当 28円(2026年7月下旬予定)  
 年間配当 55円

Copyright © 2026 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期の期末配当につきまして、以前に公表しておりました配当予想を変えず、1株あたり28円とさせていただきます予定です。よって、今期の年間配当は55円とさせていただきます予定です。

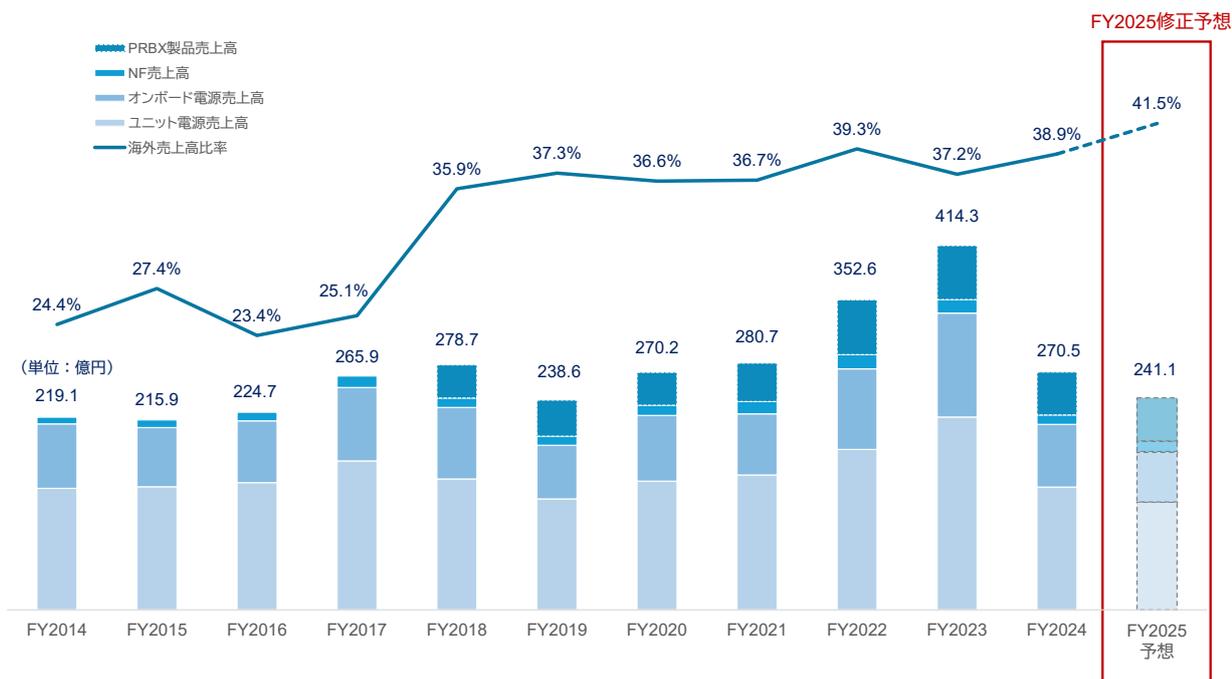
## 参考資料

## 四半期業績推移

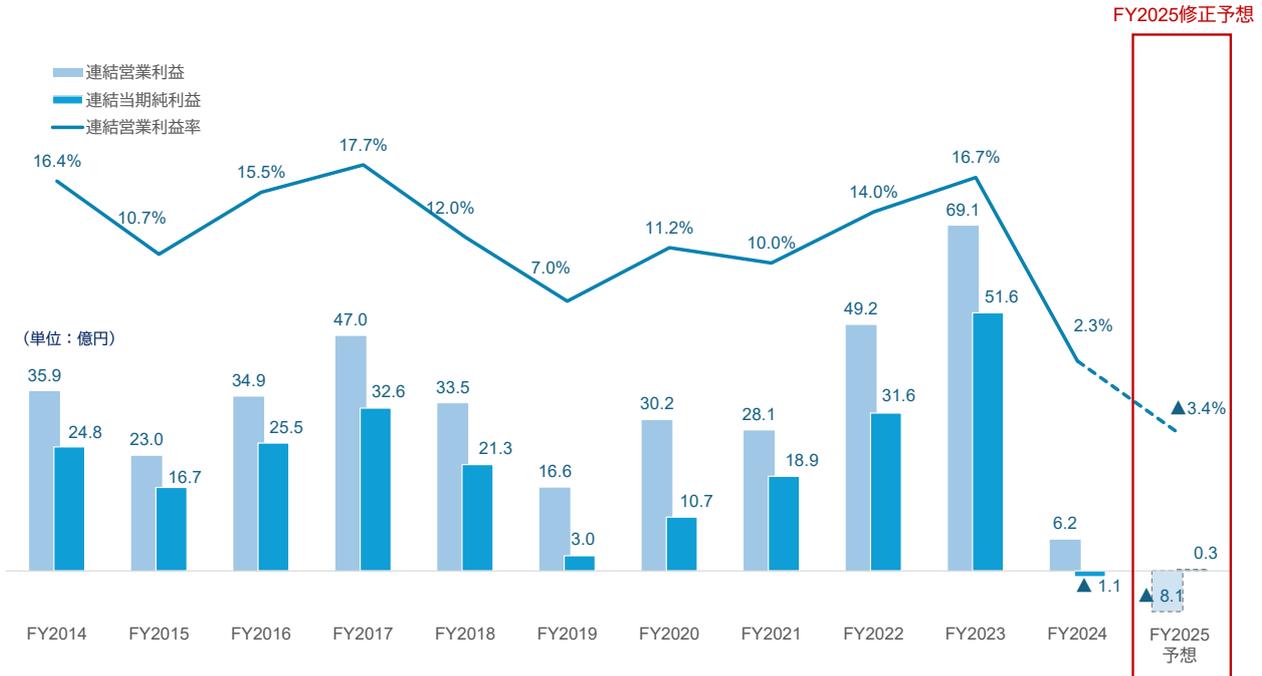


(単位：百万円)	FY2023				FY2024				FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	10,390	11,211	9,919	9,915	8,409	6,445	6,361	5,835	5,075	6,058	6,211
売上総利益	3,593	3,830	3,380	2,939	2,437	1,611	1,667	1,491	1,297	1,299	1,438
販管費	1,529	1,675	1,607	2,018	1,859	1,555	1,571	1,593	1,687	1,569	1,678
営業利益	2,063	2,154	1,772	921	578	55	95	▲102	▲389	▲269	▲239
営業利益率	19.9%	19.2%	17.9%	9.3%	6.9%	0.9%	1.5%	▲1.8%	▲7.7%	▲4.5%	▲3.9%
経常利益	2,268	2,629	1,824	1,126	464	129	45	101	▲79	196	▲107
経常利益率	21.8%	23.5%	18.4%	11.4%	5.5%	2.0%	0.7%	1.7%	▲1.6%	3.2%	▲1.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,682	1,856	1,118	511	293	▲14	2	▲395	▲68	62	▲234

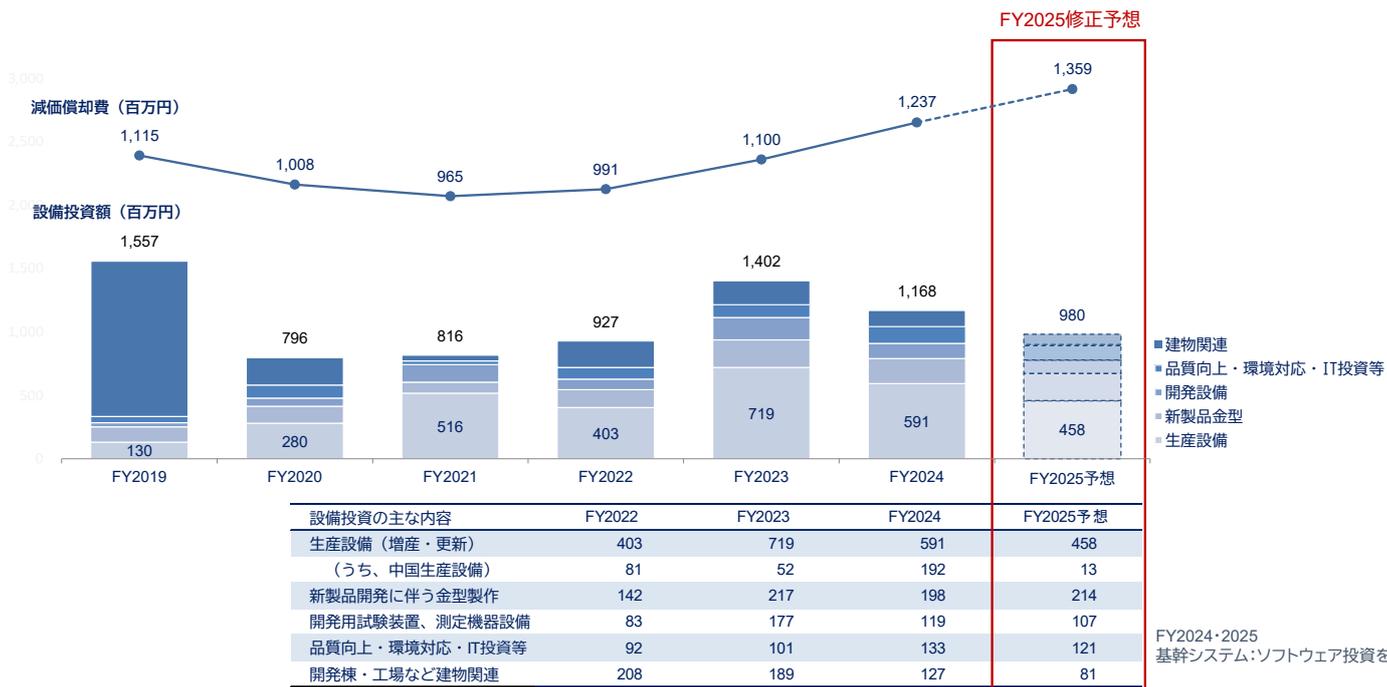
# 連結売上高・海外売上高比率



# 連結利益



# 設備投資・減価償却費



# 研究開発費

(単位：百万円)



	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 予想
研究開発費 総額	86.8	189.9	233.4	294.6	320.3	386.0	387.2	415.0
人件費	66.4	145.9	184.6	215.0	239.6	300.4	309.3	312.0
経費	20.4	43.9	48.8	79.6	80.7	85.6	77.9	103.0

単体：研究開発費（製・販）+研究室の費用  
 無錫：開発部署の費用  
 PRBX：技術資産の増加分 \*FY2019～

# PRBX四半期業績推移

(単位：百万円)



PRBX：スウェーデンを拠点として電源開発・製造・販売する当社100%子会社 Powerbox International AB



**【将来に関する記述についての注意事項】**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。